

# 生活の質の安定を 多職種で支える口腔ケアプラン

**今**年度介護報酬改定では、訪問系サービスで口腔連携強化加算が新設された。ケアマネジャーも、口腔ケアに関する知識を一層強化する必要があるだろう。本稿では、口腔ケアの基本知識のおさらいとともに、多職種で叶えたケアの好事例をご紹介します。

## はじめに

「訪問看護ステーションつばめ」は、滋賀県大津市にある脳神経内科「さくらクリニック」と同法人（医療法人道器）の下に、2018年11月に開設しました。当ステーションには2名の摂食・嚥下障害看護認定看護師が在籍し、摂食嚥下障害を有する方が在宅で安心して生活できるように、訪問看護サービスを行っています。

理念として「①食べる笑顔につなげたい、②あなたらしい人生を、③思いやりと感謝を」を掲げ、通常の訪問看護業務に加え、誤嚥性肺炎の予防や嚥下機能の維持・向上を目指したりハビリテーションなどを行っています。ご利用者様の約7割の方に、口腔ケアや嚥下訓練・嚥下評価、嚥下調整食などの食事指導や栄養管理などを日々行っています。

## 口腔ケアについて

当ステーションが摂食嚥下障害看護に力を入れていることもありますが、高齢者の方をご訪問していて、口から食べる楽しみや喜びを大切にされるご利用者様やご家族様がほとんどです。胃瘻からの栄養補給を余儀なくされていても、ゼリー1個の嚥下訓練を楽しみに私たちの訪問を待ってくださっています。

退院された頃よりも、食事摂取量が増え元気になっていく姿を見て、改めて口から食べる力の偉大さを感じています。

高齢者は特に誤嚥性肺炎に気を付ける必要があります。高齢者の肺炎のほとんどが誤嚥性肺炎といわれています。誤嚥性肺炎は脳梗塞の後遺症やパーキンソン病などの神経疾患などが主な原因ですが、加齢により嚥下機能が低下した方にも起こりやすくなっています。

誤嚥性肺炎の予防に欠かせないのは口腔ケアです。口腔ケアには口の中の細菌を減らすだけでなく、唾液の分泌を促し口腔内の自浄作用を高め、脳に刺激を与え認知機能に影響を与えるなどの様々な効果が期待されています。

口腔ケアは大きくふたつに分け、器質的口腔ケアと機能的口腔ケアと呼んでいます。器質的口腔ケアは口の中の細菌や汚れを取り除き、口腔内を清潔に保つためのケアのことです。機能的口腔ケアは、口腔機能の維持や回復に向けたケアのことで、口腔周囲の筋肉や舌を動かすことで口腔機能の低下を予防します。嚥下体操や口腔周囲筋のマッサージなどがこちらに含まれ、嚥下機能の維持や回復にもつながっています。実際に、機能的口腔ケアを継続的に行うことで、ご利用者様の表情が豊



執筆 ▶  
浅田 摩紀

医療法人道器 訪問看護ステーションつばめ 管理者  
摂食・嚥下障害看護認定看護師